

2004 年度 委員会活動成果報告

(年 月 日作成)

委員会名	環境配慮型鉄筋コンクリート工事研究小委員会	主 査 名：野口貴文
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2004年4月 ~ 2006年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p><u>設置目的</u> 日本建築学会標準仕様書・鉄筋コンクリート工事（JASS 5）の次回大改定に向けて、コンクリートの使用材料および調合の選定、コンクリートの製造・施工方法の決定、ならびに鉄筋・型枠工事おける材料選定および施工方法決定において環境負荷低減のために考慮すべき事項の抽出と環境負荷最小化のための対処方法について検討し、JASS 5 大改定に基礎資料とする。</p> <p><u>各年度活動計画</u> 2004年度： コンクリートの使用材料および調合の選定、コンクリートの製造・施工方法の決定、ならびに鉄筋・型枠工事おける材料選定および施工方法決定において環境負荷低減のために考慮すべき事項を抽出する。</p> <p>2005年度： コンクリートの使用材料および調合の選定、コンクリートの製造・施工方法の決定、ならびに鉄筋・型枠工事おける材料選定および施工方法決定において環境負荷最小化のための対処方法について検討し、JASS 5 大改定に役立つ資料を作成する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	野口貴文(東京大学) 小山明男(明治大学) 田村雅紀(東京都立大学) 石川嘉崇(電源開発) 依田和久(鹿島建設) 橋田 浩(清水建設) 並木 哲(大成建設) 一瀬賢一(大林組) 柳橋邦生(竹中工務店) 齋藤 博(東鉄工業) 原田修輔(住友大阪セメント) 大川 裕(エヌエムビー) 澤田英二(全国生コンクリート工業組合連合会) 金 貞美(東京大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	100,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第1回：2004年 7月15日、出席者13名 第2回：2004年10月 4日、出席者13名 第3回：2004年12月 3日、出席者9名 第4回：2005年 1月25日、出席者8名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>日本建築学会・建築工事標準仕様書 JASS5 (鉄筋コンクリート工事) の各節の規定に関して、環境負荷を低減する関連する材料・施工等の技術の現状について分担を決めて調査を行い、委員会を開催して調査結果に対して総合的な環境負荷低減の観点からの議論を行った。</p> <p>その結果、2004年度においては、2005年度に環境配慮型 JASS5 の試案を作成するために必要な情報収集ができ、コンクリートの材料、コンクリートの製造、および鉄筋コンクリート造建築物の施工それぞれに関して、総合的に環境負荷を低減できる技術を整理することができた。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の計画通りに活動を進めることができ、2005年度内に環境配慮型 JASS5 の試案を作成できるものと思われる。</p>
その他評価すべき事項	